

ふる～ぶ

吉野川ファン通信

「ふる～ぶ」はフランス語 (fleuve) で海にそそぐ大河のことです。
ひと、まち、自然、歴史、風景などの吉野川をとりまく様々な表情をみなさんにお伝えます。

100
Anniversary

2008/6



1 page **〔特集〕**
吉野川アラカルト

佐々木所長はじめまして
ふる～ぶめいとリーダーと川談義

発刊100号を記念して、徳島河川国道事務所
佐々木一英所長とお会いし、ちょっぴり緊張気味の
ふる～ぶめいとリーダーの皆さん。
吉野川の魅力や今後の活動などをお話しました

3 page **吉野川いまむかしスペシャル**
第十樋門

5 page **ふる～ぶ編集部がおじゃましま～す!**
たくさんの笑顔に出会って

6 page **Ra♪Ra♪Ra♪ エッセイ**
ラベンダー

ふる～ぶ INFORMATION
吉野川にコアジサシを呼び戻そう

7 page **よりよい吉野川づくり〈第37回〉**
平成20年度の徳島河川国道事務所における
吉野川に関する主要な事業を紹介します

ふる～ぶひろ・ば
編集後記・おたより・プレゼント



佐々木所長はじめまして ふる～ぶめいとリーダーと川談義

平成12年10月に始まったふる～ぶめいとリーダーの活動。川に関する情報をレポートとして編集部へ送っていただいたり、年に数回行われている野草摘み教室や竹細工教室などのイベントの講師を務めてくださったり、スタッフとして活躍してくださっています。

100号を記念して、徳島河川国道事務所 佐々木一英所長とお会いし、ちょっぴり緊張気味のリーダーの皆さん。ドキドキのお話が始まりました。

【参加者】

●佐々木一英 徳島河川国道事務所所長

ふる～ぶめいとリーダー：●今中忠重さん（吉野川市）●上田佳穂さん（藍住町）●大塩邦光さん（つるぎ町）

●川井ふみこさん（鳴門市）●森澄子さん（阿波市）●山地武彦さん（徳島市）●若槻尚子さん（石井町）以下敬称略



吉野川を眺めながら、談笑中の佐々木所長とリーダーの皆さん。

私と吉野川～自己紹介～

大塩 ふる～ぶの活動には、初期から参加しています。子どもの時から夏の川遊びなど吉野川に親しんできました。近所には貞光ゆうゆうパークがあり、多くの人が吉野川に親しんでいます。

上田 吉野川の堤防を散歩やジョギングするのが大好きです。河川敷では、ソフトボールをするなど、一年を通じて吉野川に親しんでいます。木津川や、加古川、淀川など、ほかの川を見て歩くのも大好きです。

山地 事務所のすぐそばに住んでいてもう35年になります。吉野川渡し研究会の会員で、渡しと人と川のかかわりを通じて、吉野川の魅力を伝えています。

今中 6年前、遍路旅をきっかけに大阪より移住しました。吉野川を初めて



昨年夏の学校訪問「川はともだち」にて、子どもたちに竹について説明する長江さん。

多くの方が参加して下さった昨年の野草摘み。スタッフも合わせると55人もの方が集いました。

見た時は、なんて大きくて、立派な川だろうと思いました。

川井 私は、自分の住んでいる鳴門の海が大好きです。鳴門のきれいな海があるのも、きれいな吉野川があるからだと思います。第九を歌う会の会員で、全国や外国へ出かけ、川を見るたびに吉野川はなんと美しい川なんだと気づかされます。

森 私の住んでいる市場町伊月は、善入寺島が目前にある風景のいいところです。昭和54年ごろでしたが、堤防に鹿がいたことがありました。もうほとんど鹿を見

ることがない時代でしたので、過去から登場したようで驚きました。

若槻 小さい時、近所の川にホテルやウナギがいました。よく遊んだ覚えがあります。そのことを作文にしまして、ふる～ぶめいとリーダーに応募しました。

佐々木所長 私は、北海道の出身です。石狩川水系の豊平川の支流である望月寒川という川の近くで住んでいました。吉野川にくらべると、とても小さな川ですが氾濫し、床上浸水の被害にあったこともあります。入省して、江戸川や淀川などの都市河川で仕事をしましたので、吉野川のような自然がいっぱいの場所で働くのは初めてです。とても雄大で美しい川だと思います。

対談のようす

「住んでいる方と触れ合うことでいい吉野川になると思います」

「昨年重清東小学校に竹細工に行きましたが、今後学校訪問の際、地域のお年寄りに洪水のお話などもうかがってみたいと思います」

「毎年河川一斉清掃では、出張所の方に大変お世話になっています」

「ふる～ぶは吉野川の大きなPRツール。県外から来た方にも受け皿になる広報誌です」などさまざまな意見がでました。



当たり前のようにある吉野川

大塩 以前、私が仲間と一緒に貞光ゆうゆう館前の桜つつみ公園の花の手入れをしていた時、東京から高名な旅行作家の方がこられたことがあり、「吉野川は素晴らしい、全国にこんな素晴らしいところはない」とおっしゃっていました。それを聞いていたみんなは、どちらかというと、ここがいいっていったいどこがいいの?とぼかんとした感じでした。普段当たり前のように吉野川が生活のなかにあり、地元に住む私たちの気づいていない吉野川のよさが県外からいらっしゃる方にはわかるようです。

川井 私も同じようなことがあります。ふる～ぶを知り合いに配り、吉野川の魅力を伝えているのよ～といいましても、吉野川って何も目新しいことないでしょみたいな感じで反応がないこともあります。

今中 私も徳島にきていろいろと歩きましたが、本当にいいところがたくさんあります。でも地元の方にとっては普通なんですね。吉野川も流れているのがごく普通といった感じです。

ふる～ぶめいとリーダーの皆さん

今後も、今までのように、イベントや

ふる～ぶの配布などで、吉野川の魅力を伝えていきたいです。

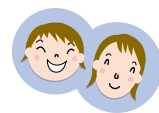
★★★

そのほか、日頃から吉野川の清掃などを通じて感じた吉野川のゴミの多さ、たくさんの野草があること、多くの人が川に親しみ笑顔があふれるイベントのことなどいろいろお話しているうちにあっという間に時間が過ぎていきました。

佐々木所長 さきほども、お話ができましたが、私も地元の皆さんに吉野川はとても雄大で美しい川だというお話をしたら、「えっそうですか?」という反応が返ってくることもあります。でも、今日お話をさせていただいたふる～

ぶめいとリーダーの皆さんもそうですし、吉野川とかかわりを持っていらっしゃる方がたくさんいらっしゃいます。

これは、大変ありがたいことですし、うれしく思っております。今後もさまざまな活動を通じ、吉野川と触れ合っていたいただきたいと思います。



「こちらのやっていることに理解を示してくださった」「事務所にくる機会はなかなかないのでいい機会でした」「とても気さくで親しみやすい方でした」と皆さんの感想はさまざま。

また、編集部は、ふる～ぶめいとリーダーの皆さんとともに、楽しい誌面づくりや、川に親しむイベントを行ってきたいと思います。

101号からのふる～ぶもどうぞよろしく願います。



水辺に近づくことのできる貞光ゆうゆうパーク。季節ごとに花が咲き、多くの人がスポーツに親しんでいる。



十番札所切幡寺と十一番札所藤井寺を結ぶ遍路道。善入寺島を越え、川島潜水橋を渡る。



大具の渡し跡。
三好市池田町州津と井川町西井川を結んでいた。



佐々木所長を囲んで吉野川橋の前でみんなで記念撮影。
向かって後列左から、今中忠重さん、山地武彦さん、佐々木一英所長、若槻尚子さん、敷田ひとみ(編)、上田佳穂さん、前列左から、川井ふみ子さん、川西洋子(編)、大塩邦光さん、森澄子さん。

吉野川 いま むかし スペシャル

24回2年間にわたってお伝えしてきた吉野川いまむかし。

100号の今回は、上板町にある第十樋門編です。

この昔の写真は、徳島工業高校より提供していただいたものです。

徳島工業高校は、2009年度には、徳島東工業高校、水産高校とともに統合され、徳島科学技術高校となるため、その幕を下ろすことになります。それ
にともなって、校内の資料の整理をしていたところ、多数
の写真とともにこの写真が出てきたそうです。

ここに写っているのは、先人たちの技術、そして人々。

現在も、凜とした美しい姿を見せる第十樋門。

約85年前の姿をごらんください。

参考資料：「吉野川百年史」建設省徳島工事事務所発行（平成5年）



徳島工業高校

第十樋門

大正8年着工、同12年に完成。

吉野川第1期改修工事計画の一環として、吉野川と旧吉野川の分派点に建設された樋門です。

昔の吉野川は、第十堰地点を南から北へ流れ、現在の旧吉野川を本流とし、第十堰から下流の現在の吉野川は別宮川と呼ばれていました。

分派点の付け替えとともに、第十樋門を建設し、現在の吉野川の河道が完成しました。

通常は、門が開放され、旧吉野川流域の洪水氾濫防止、河川維持用水、水道用水、工業用水、農業用水の供給とたいへん重要な役割を果たしています。洪水時には、門を閉め、旧吉野川と今切川に水が流れ込むのを防いでいます。



現在の第十樋門

樋門中央の樋柱には「第十樋門」と名が浮き彫りされ、現在も、建設当時の姿が残され重厚さを感じさせます。



第十樋門の基礎工事中の写真

（大正10年3月16日）

写真の真ん中に井戸が見えます。その右側の白い煙のようなものは、ウォーシントンポンプで井戸周辺を洗っているところと思われます。また、積み上げられたブロックは、堤防の基礎工事の強さの実験をしているところと推測されます。



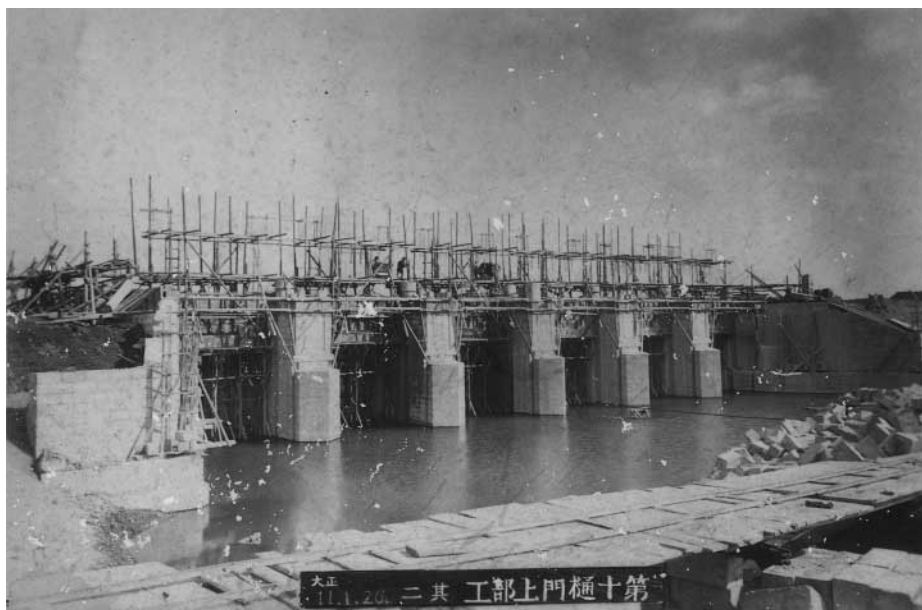
第十樋門上部工

（大正11年1月26日）

本工事の総工費419,790円

（一基 当時の価格）を要しました。





第十樋門上部工

(大正11年1月26日)

完成から約1年半ほど前の写真。第十樋門は、現在も旧吉野川流域の洪水氾濫防止、河川維持用水、水道用水、工業用水、農業用水の供給など、多くの重要な役割を果たしています。



第十樋門取入口

(大正12年4月5日)

西面からみた様子。多くの人々の姿が見えます。1つのゲートが開かれています。



第十樋門取入口

(大正12年4月5日)

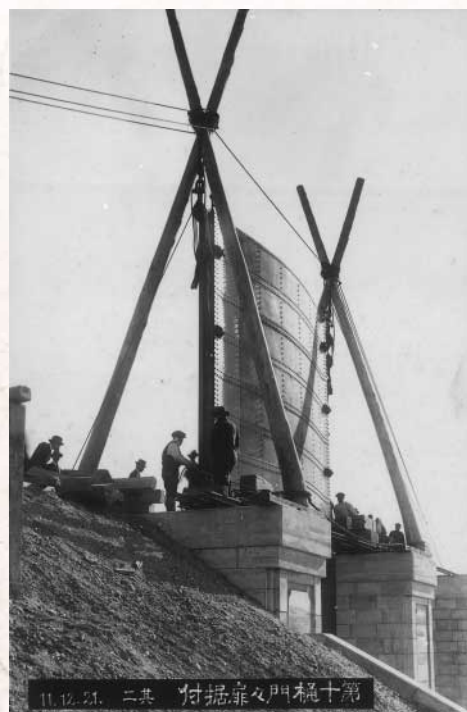
向かって左下にあるのが荷物を運ぶためのレール。工事現場が不便であったため、別宮川左岸の堤防天端に延長約9.1kmの人力運搬軌道を設けて、工事資材その他を供給していました。遠くに見えるのが眉山。たたずむ姿は今も変わりません。



第十樋門門扉の据付

(大正12年12月21日)

6連ある樋門のそれぞれに鉄の門扉を差し入れているところです。門扉は巻上機で上下に操作できるようになっていました。当初は手動式のローラーゲートで開閉機はカウンターウェイト型手動ワイヤーロープだったそうです。その後2度の改造が行われました。



水尺小屋

建設された時から吉野川の水位を計測してきました。現在は別の水位計が設けられていますが、今も趣のあるたたずまいは変わりません。

今回で吉野川いまむかしは最終回となりますが歴史的な写真などがありましたら情報を是非お寄せください。誌面等で反映させていただきます。



【取材問い合わせ先】

ふる～ぶ編集部

Tel&Fax 088-623-6085

E-mail: fleuve@chime.ocn.ne.jp

たくさんの笑顔に出会って

VOL.65よりはじまったこのコーナー。VOL.99までに、登場した学校は31校、ふる～ぶ編集部に職場体験にやってきた徳島中学校の皆さんを加えると、32校にもなります。

吉野川や支川などの環境学習、地域の歴史や風土に根ざした学習など、さまざまな学習の様子をお伝えしてきました。先生、子どもたち、多くの笑顔に迎えていただきました。本当にありがとうございます。今後もふる～ぶでは、みなさんの学校におじゃましてさまざまな取り組みをご紹介します、吉野川の未来を担う子どもたちを応援していきたいと思います。

今後、小中高を問わず、皆さんの学校に取材に伺わせていただきます。「私の学校に来て!」という取材依頼もぜひお待ちしております。

■今までおじゃました学校とテーマ

VOL.65	三縄小・川崎小(三好市)	サギソウを守る
VOL.66	加茂名南小(徳島市)	ビオトープ作り
VOL.67	藍住東小(藍住町)	吉野川流域講座
VOL.68	藍住北小(藍住町)	水でっぽう作り
VOL.69	皆瀬小(つるぎ町)	スズカケソウを守る子どもたち
VOL.70	藍畑小(石井町)	藍染め
VOL.71	助任小(徳島市)	渭北町じまん
VOL.72	三庄小学校(東みよし町)	ふるさと川の川に学ぶ
VOL.73	北島小学校(北島町)	環境ISO
VOL.74	種野小学校(吉野川市)	美しき郷で学ぶ子どもたち
VOL.75	吉野川を活用した総合学習の推進について	
VOL.76	取材希望小・中学校大募集!	
VOL.77	西麻植小(吉野川市)	ホテルを通じての学習
VOL.78	夏休み特別編	ぼくらの水辺再発見マップ
VOL.79	学島小(吉野川市)	KSD(環境を救う団体)活動
VOL.80	河内小学校(三好市)	オオダイガハラサンショウウオ
VOL.81	徳島中学校(徳島市)	職場体験学習
VOL.82	川内北小学校(徳島市)	見たい、知りたい、川内町。みんなで探検地図を作ろう。
VOL.83	大川村小中学校(高知県大川村)	小中一貫で、のびのび教育
VOL.84	城東小学校(徳島市)	住吉干潟から学ぼう
VOL.85	重清東小学校(美馬市)	チャレンジ米づくり
VOL.86	市場小学校(阿波市)	楽しく学んでEスクール
VOL.87	穴吹小学校(美馬市)	地域の方々に包まれて。お団子づくり。
VOL.88	特別編	吉野川と那賀川の橋のホームページ作成
VOL.89	千松小学校(徳島市)	米づくりを通じての学習
VOL.90	松茂小学校(松茂町)	みんなで考えよう。食の大切さ
VOL.91	国府小学校(徳島市)	国府伝統文化まるかじり
VOL.92	林小学校(阿波市)	自転車部やったぞ! 全国8位
VOL.93	岩倉小学校(美馬市)	みなおそう! 僕の私の食生活。自給自足で健康に!
VOL.94	北島南小学校(北島町)	環境学習の様子
VOL.95	郡里小学校(美馬市)	引き継ごう! 広げよう! 郡里の文化
VOL.96	神領小学校(神山町)	みんながアーティスト(神山アーティストinレジデンス課外授業)
VOL.97	脇町小学校(美馬市)	1年をかけて吉野川を学習
VOL.98	貞光小学校(つるぎ町)	平和の祈り十六地蔵
VOL.99	松島小学校(上板町)	さとうきびで町の伝統産業を知る



ハーブ農園 からの風

このコーナーでは、「ふる〜ぶめいと」の黒川慶子さんにハーブの楽しみ方を中心に、食と健康、水の大切さなどについて語っていただきます。楽しいレシピなども登場しますよ。

ラベンダー

ラベンダーの仲間は、地中海沿岸からアフリカ北部を中心に約37種の原種が知られています。栽培品種の数は100を越えるともいわれ、花色、形、高さなどバラエティに富んでいます。私達の最も身近で馴染み深いものは、コモンラベンダー(別名イングリッシュユラベンダー)だと思われ、すが、花を楽しんだり、お茶にしたり、乾燥させてポプリ・サシェ・ピロウなどに加工したりと多岐に渡り活用できます。なかでも、その香りには癒し効果が大きく、ラベンダーの香りの中でシャンソンを聞き、本の中のフランス・ソー地方のラベンダー風景を想像すると、何とも至福の時が味わえたりします。また、ストエカスラベンダー(別名フレンチラベンダー)の愛らしい花色には、これが自然の恵みかと驚かされます。標高500mにある美馬市脇町の美村が丘に植えられたストエカスラベンダーの花色は、同じ苗でありながら、我が家



白花フレンチラベンダー

のビニールハウスの中とは大違いで、紫にもこういう表情があるのかと思うくらい入っていました。最近では、ピンク色がかわいいキュウレッド、白花フレンチラベンダー、イエローフラーラベンダーとか、富良野ラベンダー、長崎ラベンダー、アボンビユーなど店頭に出回る種類も多く、園芸を楽しむ方にもチャンスが増えたような気がします。民間業としての活用も多岐に渡っています。

【黒川慶子さん経歴】

ハーブコーディネーター
板野町でハーブ農園を営む。
食と健康について、講演も務める。
徳島県薬草協会会員
上板町薬草協会会員

広い広いハーブの世界のごくごく一部でしたが、皆様方と共有する時間を持つことができ、とても嬉しく思っています。2年間どうもありがとうございました。皆様方のますますのご発展を祈念し、ペンを置きます。



ふる〜ぶ 3姉弟妹の Information

報告

吉野川現地(フィールド)講座に編集部が行ってきました。

吉野川にコアジサシを呼び戻そう

最近、吉野川では、外来種の植物であるシナダレスズメガヤなどが増えていることによって、昔に比べてレキ川原(小石の川原)などが少なくなってきました。このため、小石のある場所に好んで巣を作り、子どもを育てるコアジサシ(環境省レッドデータブック:絶滅危惧Ⅱ類)が減ってきています。コアジサシは、東南アジアやオーストラリアから、4月頃やってきて、卵を産み育て、8月ごろ帰っていくカモメ科の渡り鳥です。コアジサシを呼び戻そうと、徳島河川国道事務所と徳島県の共催で、2回のシリーズで、吉野川現地(フィールド)講座が行われました。デコイとは、渡り鳥であるコアジサシの集団営巣の習性を利用し、仲間と思って飛来するように河原に設置する模型のことです。

徳島河川国道事務所では、今後、定期的にコアジサシの観察を行っていく予定です。コアジサシが吉野川にやってきますように!

第一部 3月30日(日) コアジサシデコイ(模型)作り

たくさんのデコイができました。デコイとは渡り鳥であるコアジサシの集団営巣の習性を利用し、仲間と思って飛来するように河原に設置する模型のことです。



川西も一生懸命
作りました



第二部 4月13日(日) コアジサシデコイ設置と野鳥観察



カラスなどの外敵からヒナを守るため、シェルター(避難場所)も作りました。

一日に1回
コアジサシの鳴き声も
流れるよ。



河川溪流・環境アドバイザー
の小林寛先生と一緒に数田も
デコイを置きに行きました



日本野鳥の会徳島県支部の三宅武先生の指導のもと、野鳥観察を行いました。22種類もの野鳥を観察できて、鳴き声も聞く事ができました。

平成20年度の徳島河川国道事務所における吉野川に関する主要な事業を紹介します

河川改修事業



▲芝生箇所【三好市三野町清水地先】



▲加茂第一箇所
【東みよし町三加茂中庄地先】

洪水のたびに浸水被害が発生している吉野川上流地区(岩津～池田間)の無堤地区において、早期に洪水防御を図るべく、築堤事業を計画的に推進します。平成20年度は、芝生箇所(三好市三野町清水地先)、加茂第一箇所(東みよし町三加茂中庄地先)の用地買収及び築堤事業等を推進します。



▲大麻箇所(新喜来上流地区)
【北島町高房地先】



▲大津箇所(中喜来地区)
【松茂町広島地先】

旧吉野川流域は、氾濫域に資産が集積していることから、一度無堤部から洪水が氾濫すると甚大な被害となります。このことから早期に洪水防御を図るべく築堤事業等を計画的に推進します。平成20年度は、大麻箇所【新喜来上流地区】(北島町高房地先)の用地買収を行うとともに、大津箇所【中喜来地区】(松茂町広島地先)の築堤設計を行います。

維持修繕事業

維持的的事业として、河川管理施設の維持管理、堤防除草等を実施します。修繕的的事业として、樋門の修繕など老朽化した施設等の補修を行い、出水による被災の防止を図るとともに、河川の美化、愛護運動を積極的に推進します。

河川改修事業【床上浸水対策特別緊急事業】



▲徳島第二箇所(床上)
【徳島市国府地先】

平成18年度より、吉野川の飯尾川流域で頻発する内水被害を軽減させるため、角ノ瀬排水機場新設事業(徳島市国府地先)を、「飯尾川床上浸水対策特別緊急事業」として着手しました。平成20年度に完了させることにより頻発する内水被害を早期に軽減します。



▲川島箇所(床上)
【吉野川市川島町桑村地先】

平成18年度より、吉野川の桑村川流域で頻発する内水被害を軽減させるため、川島排水機場改築事業(吉野川市川島町桑村地先)を、「桑村川床上浸水対策特別緊急事業」として着手しました。平成21年度に完了させることにより頻発する内水被害を早期に軽減します。

直轄総合水系環境整備事業



▲今切川百石須箇所
【北島町百石須地先】

今切川百石須箇所(北島町百石須地先)において、地元北島町と連携し、河川利用の盛んな今切川において「にぎわいのある水辺空間」を創出する水辺の交流拠点の整備を継続します。平成20年度は、河川利用促進を図るための親水護岸の整備を行います。

その他 災害情報復旧支援室の活動

次期出水期や南海地震等の災害発生に備え、非常時の管理体制の強化・充実等に努めるとともに、市町村の洪水ハザードマップ作成の技術的支援や、住民の円滑かつ迅速な避難を支援するリアルタイムな情報提供を推進します。

よりよい吉野川づくり 吉野川河川整備計画については

<http://www.yoshinoriver.info>

—— 施工済箇所 ——— H20年度施工箇所
- - - - 未施工箇所 - - - - 暫定施工済箇所

ふる～ぶ 編集後記

ふる～ぶも100号を迎えました。吉野川へ、そして流域の町へ。読者の皆様、取材でお会いした皆様、イベントにきてくださった皆様、様々な方との出会いがありました。多くの皆様のご協力のおかげでここまでこられたように思います。本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしく願っています。(か&や)

おたより 板野郡板野町 岡本 賢さん(84歳)

謹啓、編集部の方々お元気ですか？ 私は、日頃ふる～ぶを送っていたいものです。ありがとうございます。老人会の会合へ持参してみんなに見ていただき、必要に応じてコピーもしたりして、有効に利用させていただいています。今までの分は、全部つづております。もうすぐ100号ですね。亡父が石井町出身だったこともあり、名田の渡しを幼少の頃よく渡りました。昭和2、3年頃でしょうか。渡し小屋で船頭さんが出船の合図を大声で「おーい」と呼び声をあげて、乗る人を呼びよせていたことが思い出されます。これからともよい記事を書いてください。

100号を迎える前にいただきました。おたよりありがとうございます。渡し船には、みなさんの思い出がたくさんあるのですね。今後ともよろしく願っています。(編)

お手玉プレゼント

ふる～ぶめいとリーダー上田佳穂さんからいただいたお手玉(6個)を抽選で1名様にプレゼントします。ご希望の方は、ハガキまたはFAXに住所、氏名、電話番号、誌面の感想もお書きのうえご応募ください。締切は6月30日(月)です。それぞれ模様が違う手作りですので、発送の際には、写真とお手玉の模様が異なる場合もあります。

プレゼント応募先
〒771-1156 徳島市応神町応神産業団地13-28
ふる～ぶ編集部「お手玉」プレゼント係

ふる～ぶは、吉野川流域の市町村役場、図書館、博物館、公民館等の公共施設および道の駅、株式会社阿波銀行の一部の支店と株式会社ファミリーマートの一部の店舗に置かせていただいています。皆様ご愛読ください。